

3 館連携の考え方について

前回の住民懇話会におきましても、(仮称)生涯学習センター、交流館ふらと、マルチメディア館の連携・活用(案)を示して意見をいただいたところですが、住民懇話会でいただいた意見などをもとに庁内検討組織において再度、連携方法等を検討し、次のとおり進めていきたいと考えます。

「～つながり、ささえあい、はぐくむ、創造交流のまちづくり～」の基本理念のもとに整備される(仮称)生涯学習センターを拠点として、既存周辺施設の交流館ふらと、マルチメディア館を含めた空間を使い、まちづくりの基本方針を具現化していくことを目指します。

ホール機能については、客席600席規模で進めていますが、公民館では100人程度の音楽発表会などが実施されています。

一方、マルチメディア館には客席150席のホールがありますが、音楽発表会には適した施設にはなっていません。

新施設には600席のホールのみで小規模な催しの受け皿となる機能はないことから、マルチメディア館のホールを3館連携の中の小ホールと位置づけ改修も視野に検討を進めたい。

新施設のホワイエには、多世代が休憩や歓談などで集う、にぎやかな場所となることを期待しています。ここでは、親子が絵本を読んだり、学生が友達と談笑したり、高齢者が世間話をしたり、また、その場全体で交流が図られることと考えています。

一方で、静かな場所で読書、勉強をしたいというニーズがありますが、市街中心にはそのようなスペースがないことから、マルチメディア館にその機能を持たせたスペースを設けることを検討していきたい。

基本計画で新施設へ商業空間を導入しないこととしましたが、商業ベースの諸室使用のニーズは中央公民館等の使用実績から確認できます。そのニーズに応えるため、交流館ふらとにそれらにも対応した多目的なスペースを整備することも視野に検討を進めたい。

そのほか、新施設に用意する諸室だけでは、混み合うなど一時的に町民の皆さんのニーズに対応しきれない状況も予想されることから、3館の諸室管理を一元化し3館の諸室を共有することで町民の皆さんがストレスなく利用できることを目指します。